

石川島記念病院

弓田純子(看護部／外来主任)・恩田功一(事務部／医事課主任)

功績 8月以降、それぞれの本来業務の枠を飛び越え、MSWの業務を担い、かつ10月23日に7月以来の満床稼働に貢献した功績

推薦者氏名 若林陽盛

推薦理由 自らの職域を超えて、石川島記念病院の経営に寄与したいと願い、動き、そして他職員を動かす力はOUR TEAMを形成する最たるものであり、健育会グループの職員として相応しいと考え、理事長賞に推薦いたします。

内 容

普段、弓田は外来を、恩田は医事課を取りまとめる主任として活躍しています。石川島記念病院では8月以降、MSWが1名体制となり、両名はこの危機を乗り越えるために、通常業務に加えてMSW業務を担うこと自ら申し出てくれました。最初に着手したのは、1名のMSWと共に行った業務整理です。日々の稼働確認に加え、病棟基準の維持状況の確認、入退院支援における具体的手法の見直し、さらには前方・後方それぞれの連携医療機関や施設への挨拶と関係構築など、多岐にわたる業務の一つひとつを、医師・看護部と連携しながら丁寧に確認してきました。

入退院のコントロール手法については、毎朝、院長・看護部長・各師長を交えて協議を行い、トライ＆エラーを重ねながら徐々に形を整えてきました。ちょうどその時期に全職員での理念唱和が始まり、病床稼働をどこか他人事として捉えていた今年度初頭とは異なり、現在ではベッドコントロール会議に参加する全職員が満床稼働を強く意識し、その実現のために自らの役割を真剣に考えるようになりました。

両名は、単に不足したMSWの穴を埋めた存在ではありません。他職種を巻き込みながらOUR TEAMを形成する先導者としての役割を果たしています。目下の目標は、来年1月に新たなMSWが入職するまでの間に、これまで明文化されていなかった入退院の動線ルールを整理・文書化し、確立された当院の入退院患者コントロール手法として次のMSWへ確実に引き継ぎ、文化として定着させることです。両名はすでにこの取り組みに着手しており、石川島記念病院の経営に大きく寄与しています。